

小・中学校ともに12月には個別懇談会があります。懇談会後に心のお土産を持たせてあげられるような具体的なエピソードを準備したいものです。これまで築いてきた信頼関係を大切に、温かな雰囲気づくりに心がけましょう。2学期及び1年の締めくくりにあたり、学級や係、班の活動を振り返り新たな学級の宝となるものを確認していきましょう。



<小学校>

信頼関係が子どもを伸ばす！！

保護者懇談会は、限られた短い時間。その中でも、保護者が「行ってよかった！」「先生と話してよかった！」と思ってもらえるような懇談会にしていきたいと思います。

○保護者が知りたい内容を！

- ・学校生活の中で、お友だちと仲良くしているか
- ・授業にしっかり取り組み、学習内容をどのくらい理解しているか 等

○保護者の心に伝わる言葉で！

- ・その子のよいところや、学校生活の中であった具体的に素敵なエピソードを語りましょう。
- ・「よく頑張っていますよ。でも、～するともっとよくなります。ぜひ、お家でも見てあげてください。」など、まずよさを伝えた上で、改善点への協力をお願いします。
- ・保護者と手を携えて子どもの成長を願って取り組んでいく気持ちを伝えましょう。

学級の重大ニュースを語り合う

4月からの歩みを振り返り、学級としての成長を児童全員で味わう機会をつくりたいものです。以下のような取組を参考にしてください。

◆ 学級の重大ニュースを考える

- ・学級の歩みを年表にしたり、行事等の写真を掲示したりする。
- ・学級の重大ニュースアンケートを実施する。
- ・集計結果から、各グループで重大ニュースベスト3を決める。

◆ 学級の思い出を全員で共有する

- ・発表では、重大ニュースベスト3を決め出す時に話題にあがったエピソードを加える。
- ・最終的に、学級の重大ニュースベスト3を決定し、1年間の学級の成長を皆で共有する。

こうした取組を通して、学級の成長を仲間と分かち合うとともに、ぜひ先生自身の言葉で、子どもたちの成長ぶりを子どもたちに伝えましょう。

<中学校>

保護者懇談会での信頼づくり

保護者懇談会において、各生徒の具体的な姿を伝えることが保護者の教師への信頼につながります。

☆ 具体的に伝えるために情報収集する

- ・事前に教科担任から授業中の様子やテストの間違いの特徴について情報を収集しておく。
- ・授業中の学習カードや作成した作品など、生徒の頑張りを具体的に示すものを蓄積しておく。
- ・生徒の自己評価カードを基に、生徒自身の振り返りを把握しておく。

☆ 目に見えない努力の姿を伝える

- ・一面的な見方で生徒を捉えていくのではなく、普段見せない姿を中心に伝える。
- ・目に見えないところで努力している姿を伝え、その上で、課題を明確にしていく。

☆ 誠実に対応する

- ・まずは、保護者の願いに耳を傾け、素早く対応していく。こうした誠実な対応が、信頼づくりの基本となる。

いつもとちょっと違う視点から学級を見てみませんか

学級担任をしていると、目の前のことに精一杯で、自分が担任する学級を客観的に見ることが少なくなります。時にはいつもと違う視点で学級を見てみませんか。例えば

○ 朝や放課後に他の学級や学年の教室を見る

掲示物のレイアウトや環境整備などについて、自分の学級と違う部分が見えるかもしれません。

○ 学級日誌を担当が読み合う

他の学級の様子や担任のコメントから自分とは異なる見方に気付くかもしれません。

○ 担任が交代して他の学級の短学活に行く

日頃気付かない自分の学級のよさや、さらに伸ばしたい点に気付くかもしれません。

立つ位置が変わると景色も変わるものです。ちょっと違う視点から見ることで、学級づくりの新しいヒントが見えてくるのではないのでしょうか。